

特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会
2025年 第2回理事会 議事録

1. 日時：2025年(令和7年)12月27日(土) 19時00分から21時45分
2. 場所：Web理事会(使用ソフト Zoom)
3. 理事総数9名 出席者7名(うち委任者1名)、欠席者2名
出席者：佐知樹一郎理事長、濱田佳祐副理事長、山田登志夫副理事長
長谷川俊夫理事、小林泉理事、中上ほなみ理事(事務局長)、(委任出席 森崎秀昭理事 ※委任先は山田登志夫理事とする)
欠席者 谷田寛和理事、永川智晴理事
4. 議事録署名人の選任に関する事項
議事録署名人として、本日出席の濱田佳祐副理事長と小林泉理事の2名が指名され、両名の了解のもと、異議なく承認された。
5. 議事の経過と概要及び議決の結果
定款に則り、上記のとおり、定足数に足りる出席があったので、佐知理事長が議長となり議案の審議に入った。

I 審議事項

審議に入る前に、佐知理事長から用意されていた下記の3議案についての意見交換があり、いずれも内容が採決のない議案で理事会としての審議事項には不相応であるとの意見があり、協議の結果、急遽、代替議案として下記の2議案が提案され、審議に入った。

(当初用意された議案)

第1議案: 和解後における理事会の位置づけおよび継続理事の考え方について

第2議案: 次年度における定款改訂の方針および改訂概念(2点)について

第3議案: 2026年度以降の会員制度を段階的に整理する方向性について

(代替議案)

① 第1号議案 『監事の選任について』

② 第2号議案 『次期理事体制の進め方について』

① 第1号議案 『監事の選任について』

長谷川理事より、現在監事が不在の状態であることから、2025年度の監事として牧山義則(よしのり)氏を推薦したい旨の提案があり、同理事から選任理由として牧山氏の履歴や本協会での監事経験、実務能力・会計確認能力等について説明された。理事間で協議のうえ、議長が採決を諮ったところ、全員の賛成により可決された。

なお、詳しい履歴書等の補足資料は、後日各理事へ共有することとした。

② 第2号議案 『次期理事体制の進め方について』

現在の理事は来年3月で任期が終了することから、次期理事体制について、理事決定のプロセスや候補者の選任方法等について審議が行われた。

山田副理事長より、今後の流れとして2月に開催予定の理事会において次期理事体制案を決定し、3月開催予定の会員総会に付議して最終決定をするという進め方でどうかとの提案があり、協議が行われた。

その結果、次期理事体制案については、まずは現理事の続投意向の確認、そのうえで不足する理事については佐知理事長、濱田副理事長、山田副理事長の三役で協議のうえ人事案を作成し、2月の理事会に諮るというプロセスを進めることとする。

議長が、以上のプロセスで次期理事体制の確立を進めることについて議場に採決を諮ったところ、全員の賛成により可決した。

なお、理事選任は人事案件であることから電磁的表決ではなく定款に則り理事会(対面またはオンライン)でしっかり審議した上で決議していくことが再確認された。

II 確認・検討事項

1. 定款改訂について

当初用意されていた第2号議案の定款改訂については、検討事項として整理することが確認された。

改訂の方向性として、今後以下の点について検討を進めることとした：

- ・会員条件の明文化(聴覚障害の多様性を前提に、情報保障・コミュニケーションの理解を条件化)
- ・コミュニケーション原則の明文化(手話通訳活用、情報送受信の確保、伝達確認の徹底)

改訂の進め方として、背景・理由を含む素案を佐知理事長と長谷川理事で作成し、メールで理事間に共有後、理事会で承認を経て会員総会に付議することとした。

2. 2026年度以降の会員制度を段階的に整理する方向性について

当初用意されていた第3号議案は、2026年度以降の会員制度を段階的に整理する方向性についてであり、この課題は以下のとおり今後の検討課題として整理することとした。

当初の3号議案は、当協会が置かれている現状の再確認とその対策についてであったが、その中身は明確な具体策が十分示されておらず抽象的であったことから、今回は審議事項とせず次回以降、もっと明確な具体策を提案し審議していくこととした。

(現状)

- ・会員数は増加したが約180名で頭打ち状態、競技人口が減少傾向
- ・全日本ろうあ者スポーツ大会のバスケットボールが公式競技からオープン競技へ移行
- ・女子は3チームで大会運営困難、男子も参加減少
- ・日本代表選手が地域偏在しており、一部の主要チームに偏っている

(対策案)

- ① 地域原則の会員登録案(地域クラブ立ち上げ支援、地方ブロックでの運営活性化)
- ② チーム加盟会費の設定による運営基盤強化案(IT・広報等の整備費用充当を検討)

III 報告事項

1. 電磁的表決の承認報告について

以下の3点について電磁的表決により承認を得たことを報告した：

- ・競技審判規程(2025年7月27日承認)
- ・強化委員会規程(2025年7月27日承認)
- ・強化委員会組織図(2025年8月18日承認)

2. 理事会名称の整理について

今後、定時理事会は年2回開催することとし、5月開催の定時理事会を「第1回理事会」とし、12月開催の定時理事会を「第2回理事会」と呼称することとした。これに従い前回5月開催の理事会は「第2回理事会」から「第1回理事会」に遡って修正し、12月の今回理事会は「第2回理事会」とすることを確認した。

3. 会計の引継ぎについて

現在会計業務を担っている谷田理事が体調不良で長期療養のため会計業務の継続が困難であることから、佐知理事長が緊急的に会計業務を引き継ぎ、未計上案件等を知人の税理士と整理中であることが報告された。

今後当面は監事を予定している牧山義則氏と相談をしながら会計業務を進めていく方針で

あることが報告された。

4. ハラスメント委員会の進捗と対応方針について

山田登志夫副理事長および小林泉理事より、ハラスメント委員会の開催状況について報告があった。

中立理事3名で構成された同委員会は、7月まで3回開催されたが、その後休止状態となっている。その理由は委員長である森崎理事のプライベートの業務多忙が7月以降続いていることと本人の体調不良等が原因であり委員会開催が困難となっている。

委員会の今後の方向性については、森崎委員長とも今後相談、確認した上で、再度理事に提案し検討を進めていくこととしたい。

5. スポンサー獲得方針の転換について

佐知理事長から先般提案があった募集(手挙げ)方式のスポンサー獲得方法について、山田副理事長より異論が出され、このような方式は通常の競技団体では一般的でなくスポンサー獲得がしにくいことから、次のようなスポンサー獲得方針への転換が提案された。

これまでの経験から、募集方式によるスポンサー獲得はあまり例をみなく、スポンサーを獲得するのは極めて困難である。例えば、役員等の既存人脈の活用や協会会員の協力を得たスポンサー獲得方法などにより、ターゲット企業へ直接交渉する営業方式へと転換したほうがいいのではないかとの提案があった。また、物品提供(ユニフォーム・ボール等)のサブライヤー協賛も並行して開拓していくことも必要であるとの提案であった。

6. 永川理事の退任について

永川理事の退任時期が曖昧となっていることが指摘され、本人からの正確な辞任届の受領日確認が必要であるとの意見が出された。しかし、協会とのコンタクトを永川氏が拒否しているため、本来ならば辞任届受領の有無を谷田理事(事務局次長)に確認すべきところであるが、谷田理事が現在長期療養中で確認が困難なことから、事務局長である中上理事から永川氏を理事に推挙した前理事長の篠原氏を通じ本人へ確認してもらい、正確な退任時期と手続きの有無を把握した上で、退任時期が判明次第、遡って理事会で辞任を承認することを確認した。

7. 円滑な理事会運営の改善について

小林泉理事より、理事会運営の改善について提案があった。協議の結果、今後は、佐知理事長・副理事長2名の「三役」で事前に理事会議案を確認した上で理事会に上程する方式を採用することとした。

※提案の背景は、今回理事長から提案された議案が理事会議案として十分馴染まなかったことから、上記のような意見が上がった。

8. 次回理事会および総会の予定

次回理事会は2月に開催予定であり、事業報告・事業計画・決算・予算の理事会承認を行う。

会員総会は3月に開催予定であり、2月の理事会承認済の資料を提出する。

以上をもって本日の議案全部の審議を終了し、議長は閉会を宣し散会した。

以上の決議を明確にするため、議長及び議事録署名人は以下に記名押印する。

2025年(令和7年) 12月 30日

特定非営利活動法人日本デフバスケットボール協会
第2回理事会

議長

佐知 樹一郎

議事録署名人

滝田 佳祐

議事録署名人

小林 泉

